

女性のための大学講座

7/12 (日)	午前	女性のための経済学
	午後	さわやかシェイプアップ体操
7/26 (日)	午前	今日のアメ리카女性
	午後	その人らしく生きるための看護 -カウンセリング技術を生かした援助-
9/6 (日)	午前	少子社会と女性労働
	午後	大館市の文学者・平田小六の生涯
9/20 (日)	午前	みんなでおぼえよう介護の基本
	午後	老後を仲良く過ごすための生き方
10/4 (日)	午前	日常茶飯の食事学 -“食べ物”は“もの”でない-
	午後	介護保険制度について
10/18 (日)	午前	誰もが身につけたい救急時の対応
	午後	女性と母性
11/1 (日)	午前	家庭の暮らしと天気 (パートII)
	午後	インターネットで家庭から世界へ
11/8 (日)	午前	女性の健康とネットワーク

と き・午前 10時～12時
午後 1時～3時

ところ・秋田桂城短期大学

定 員・100人

※定員になり次第締め切ります。

受講料・無料

お申し込み、お問い合わせは

教育委員会生涯学習課 ☎49-3111
(内線254、255)
中央公民館 ☎42-4369



大学のある街として、大学を広く市民に開放し、学んでもらおうと大学公開講座を開講します。期間は七月六日から五日間です。講師はいずれも秋田桂城短期大学の先生で構成されており、教育から健康、郷土大館についてなど、興味深い内容をわかりやすく解説してくれ、多くの受講をお待ちしています。

ところ・秋田桂城短期大学
定 員・200人
※定員になり次第締め切ります。
受講料・無料
※全講座を受講された方には終了証書が授与されます。
お申し込み、お問い合わせは
教育委員会生涯学習課
☎49-3111 (内線254、255)
中央公民館 ☎42-4369

専門分野をわかりやすく

第4回大学公開講座

▽7月6日(月) 18時30分～20時30分
※講義の前に開講式を行います。
「今の教育・むかしの教育」
講師 佐々木 尚毅 地域社会学科助教

▽7月7日(火) 18時30分～20時30分
「介護保険との付き合いかた」
講師 渡部 誠 人間福祉学科講師

▽7月8日(水) 18時30分～20時30分
「糖尿病と上手に付き合うには」
講師 田中 禮子 看護学科教授

▽7月9日(木) 18時30分～20時30分
「今日の社会と大館」
講師 菅野 正 地域社会学科教授

▽7月10日(金) 18時30分～20時30分
「アメリカと日本の暮らし」
講師 カーペンター・ヴィクター・リー 兼任講師

※最終日は20時30分から21時まで閉講式と終了証書授与式を行います。

市長リポート

No.161



ごみ問題に
共同で取り組み

ごみの焼却によって発生する有毒なダイオキシン対策には、多くの自治体が苦勞しています。そのなかで、昨年、大館市では、塩化ビニール系のごみの分別収集を行いました。その結果、厚生省の暫定基準値を超える一〇ナノグラム含まれていたダイオキシンを三八ナノグラムまで減らすことができました。市民の皆さんの一体となった取り組みがこのような成果につながったのです。さらに焼却施設の設備を改善することで、ダイオキシンの濃度は今の二分の一から三分の一にまでおさえることができる見込みです。

しかし、長期的にみまして、これだけではまだまだ十分な対策とはいえません。今後は、大館市、比内町、田代町といった、従来の広域市町村圏組合という枠組みよりは、広く米代川流域の十八市町村が協力して、できるだけ施設の共同化を図っていくことが一つの進むべき道だと考えています。これによって、施設の高性能化が図られ、ヨーロッパ並みの基準にまでダイオキシン濃度をおさえることが可能になります。さらには、多額の費用を必要とする施設にかかる各市町村の負担が少なくて済みます。集約化することは、そのほかの点でも、高レベルで、しかも効率的なごみ処理を可能にしてくれます。

ごみの量を減らすという大きな問題を考えるときに、ごみのリサイクルは欠くことができません。そのため、リサイクルプラザの建設計画も進めています。リサイクルプラザでは、再利用できるものを取り出し、現在、資源として回収しているごみと合わせて製造業者に引き取ってもらうとともに、補修、販売も行います。これからさらに深刻化するであろうごみ問題は、市町村単独では、解決が難しい問題です。米代川流域十八市町村及び皆さんの協力があるからこそ、前進があるのです。ごみへの取り組みに関してご理解とご協力をお願いします。

小畑 元